

しょうゆキット 来月1日発売

「黄金だし めなしの恵み」



羅臼のサケ節とコンブが入ったしょうゆキット「黄金だし めなしの恵み」

羅臼産サケ節とコンブをボトルに 漁協女性部 初回生産は80個

羅臼漁協女性部(田中郁子部長)は、羅臼産サケ節と羅臼コンブをボトルに入れたしょうゆキット「黄金だし めなしの恵み」を3月1日から同漁協直営店海鮮工房(羅臼町本町)で発売する。同商品は、購入者がボトルに好みのしょうゆを入れて味わうキット。同女性部では17日から商品の生産を開始、初回生産個数80個を目指し、精力的に作業を進めている。

商品名は、「自製郡羅臼町の「めなし」から命名した。ボトルの中にはのりとも朝倉商店のサケ節と、同女性部がバラの形にあしらった羅臼コンブがそれぞれ3ヶ入っている。

田中部長は、「この商品を通じて、めなし(羅臼)の味覚を存分に感じてもらいたい。需要が低下している羅臼コンブの消費拡大につながれば」と期待を込めている。1個700円。問い合わせは同漁協女性部事務局0153(87)3116へ。(前田大介)

道予算案を発表する高橋知事



道の推進、地域医療充実とがん対策推進、地震・津波、原子力防災対策の強化などを主要政策としてちりほめた。

食産業振興関連は22億円と2011年度比32%増、エゾシカ対策関連が18億円で同11%増、雇用対策関連が21%増の76億円、がん対策関連456%増の約8億円など大幅増額。新規事業は、エゾシカ肉の活用事業や長期滞在型観光促進事業、外国人観光客誘致

根室振!

独自5事業に489万円配分

道の新年度当初予算案のうち根室振興局分は、振興局独自事業分が5事業489万円(対前年比7・8%減)、北方領土関連事業費3億3424万円(同0・2%減)が配分された。このほか予算の詳細は示されていないが、赤しなが盛り込まれた。首都・関西

事業が予定されている。また根室関係分を含む道の北方領土関連予算は、5億9363万円(同1・6%減)が計上されている。

根室振興局が管内1市4町に特化して行う独自事業には、新規2事業、継続3事業が盛り込まれた。首都・関西

圏と道央の修学旅行誘致に力を入れる「E北海道ねむるのくに地域資源活用型観光推進事業」は、新規事業として268万円。

同じく新規の「北方領土サミット提言実現事業」聞いて知る北方領土 わたしたちの想い」は、3年間にわたつ

る。ボトルは150ミリ程度のしょうゆ差しになっていて、2、3回継ぎ足すことができる。

開発のきっかけは、同女性部が昨年2月のさっぽろ雪まつりで、サケ節とコンブだしを合わせた「黄金だし」のつみれ汁を販売したのが発端。濃厚な味わいは会場で好評を呼び、手応えをつかんだメンバーは、黄金だしを使った第2弾商品としてめなしの恵みを送り込んだ。